

心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	船橋市立薬円台南小学校		
ア 全校児童生徒数	486名 (令和6年5月1日現在)		
イ 実践対象 (学年・人数など)	① 1年1組 33名 1年2組 34名 2年1組 30名 3年3組 26名 5年1組 27名 ② 2年生 91名 4組 8名 薬園台高校 17名 船橋市ユニバーサルスポーツ協会 15名 4組 保護者 4名 ③ 4年生 94名 3年生 80名		
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) *画像の挿入可	<p>①4組（自閉・情緒障害学級）担任による障害者理解のための授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4組の担任が、通常学級を回り4組児童の特性や学校生活について紹介し共に生きる大切さを学ぶ授業を行う。【4月】 <p>②パラスポーツ体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ（講師：船橋ユニバーサルスポーツ協会）【10月】 4組及び本校2年生児童、薬園台高校生徒が参加 ・ボッチャ的なゲーム 【通年】 4組において年間を通し適宜自立活動として実施 <p>③講師を招いての人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生を対象とした認知症サポーター養成講座 【9月】 ・3年生を対象とした人権教室（いじめ根絶） 【10月】 <p><実践①の画像></p>  <p><実践②の画像></p>  <p><実践③の画像></p> 		

<p>エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)</p>	<p>①学校便りや保護者会（４月）、学校運営協議会で、千葉県より「令和６年度心のバリアフリー教育地域拠点校」の指定を受けたことを周知 ②障害者理解、パラスポーツ体験、人権教育の授業を学校ホームページで随時紹介 ③４組保護者によるボッチャ体験 ④４組保護者によるユニバーサルスポーツについての座談会</p>
<p>オ 実践成果 (児童生徒の変化など)</p>	<p>①通常学級児童と特別支援学級児童の交流授業では、特性を理解し合い協力して活動しようとする姿勢が多く見られた。 ②パラスポーツの楽しさを実感し、興味関心が高まった。パラスポーツについて調べる際には意欲的に取り組むことができた。 ③用具やルールを工夫することで、障害の有無に関わらず一緒に活動できることの大切さを実感できた。 ④他者の思いに寄り添うとともに、友達や家族と助けあって生活をしていきたいという気持ちを育むことができた。</p>
<p>カ 次年度以降の予定 (課題や改善策など)</p>	<p>①総合的な学習の時間を活用し、パラスポーツについての調べ学習を充実させ、保護者や地域方々へパラスポーツの意義や楽しさを紹介できるような発表の場を設ける。 ②パラスポーツ体験では児童生徒や保護者だけでなく、職員も体験できる場を設ける。 ③通常学級と特別支援学級児童が交流できる機会を更に増やせるよう、活動場所やルール、役割分担等を工夫し実践できるようにしていく。 ④学校行事や児童会活動以外にも、定期的な異学年交流の場を増やせるように努める。 ⑤心のバリアフリーにつながる出前授業を継続できるよう、保護者や地域にも呼びかけ、船橋市ユニバーサルスポーツ協会、介護支援センター、人権教育講師以外の地域の人材確保に継続的に努める。</p>
<p>キ 添付資料 (広報資料・Web記事など)</p>	<p>添付資料-1 実践①４組（自閉症情緒障害学級）担任による障害者理解のための授業 (記録写真 令和6年4月26日撮影) 添付資料-2 実践②パラスポーツ体験 船橋市立薬円台南小学校学校便り (全校生徒と地域ボランティアに令和6年10月31日発行) 添付資料-3 実践②パラスポーツ体験 船橋市立薬円台南小学校ホームページ (令和6年11月1日更新) 添付資料-4 実践 実践③講師を招いての人権教室 船橋市立薬円台南小学校便り (全校生徒と地域ボランティアに令和6年9月30日発行) 添付資料-5 実践③講師を招いての人権教育 船橋市立薬円台南小学校ホームページ (令和6年9月24日更新)</p>

*A4 サイズ 2 ページ以内に調整すること。